鉄骨組立中、梁上でふらつきロープを掴み肘筋損傷

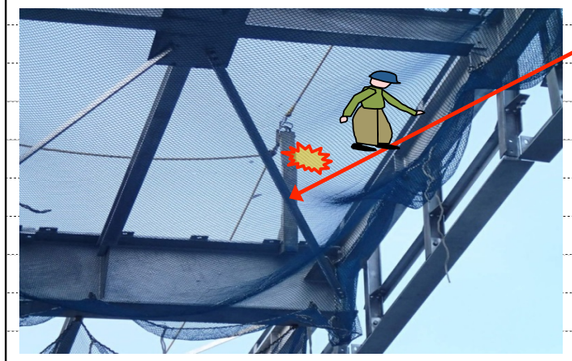
その他ー２

発生月日　時	2月　10日(金)　13時　10分			工事内容	鉄骨平屋建店舗新築ーーー延床2550m2	
被災者	職種	鳶　工	経験年	4	所属	元請　　直営　　○2次会社　1人親方　請負外契約
被災程度						

災害発生時記録

災害発生状況（写真）

被災者は鉄骨屋根上部(高さ約7m)で梁部材の吊荷受け作業中、荷の介錯ロープを掴もうと身を乗り出したとき
ふらつきバランスを崩した際、安全帯のランヤードを掴んだその反動で左肘筋を損傷した。
（安全帯ランヤードフックは親綱ではなく、親綱支柱最上部リングに直接掛けていた。）

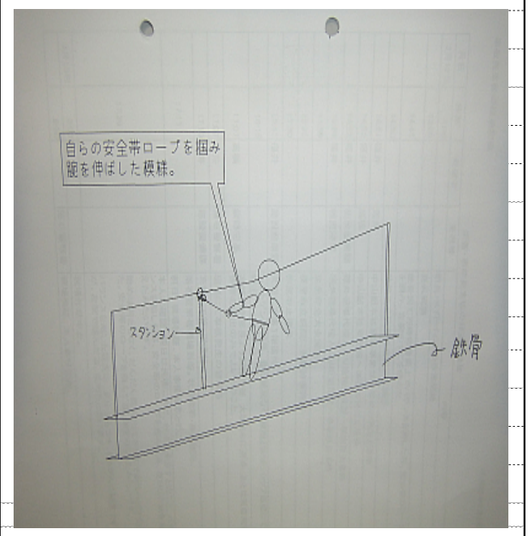


親綱支柱(スタンション)

バランスを崩し落ちそうになったので慌てて
安全帯のランヤードを掴んだ際、不自然な
状態で体重が左肘にかかり左肘筋を損傷した。

初期の対策状況含む事項(写真含)

被災者は、その後1時間くらい作業を続けたが、肘の痛みが治らないため病院で治療を受けた。(休業2日)

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	吊り荷の介錯ロープ(梁部材)に気をとられ、身をのりだしたとき 足元を踏み外しそうになった。	◎		○	介錯ロープが作業者の近くに(安全な位置)来て静止するまで、 手を出さない。	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)